

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



熱田神宮は三種の神器の一つ草薙剣をまつり参拝者は年間一千万人。本宮別荘のほか長社八つ。そのうちの上知我麻神社は初元びりとも知られる。

東海道五十三次
 宮みや



六天を社城には大木が生い茂りホソソキかな家酒気か乗る。熱田神宮は織田信長が桶狭間に公陣する前に戦勝祈願したところでも有名な境内には信長が勝利の返礼に寄進した信長塀がある。神社を出て南直達すれば

「喪し場跡。現在は宮の渡り公園として整備されている。昔はここから三里の海路を経て桑名へ渡ったのが狂時の城跡にいまではすかへて埋め立て地になっ



海ははるか彼方だが、喪し場は川幅の太い場所面に面しているためなまると感じ。石造りの常夜燈と巨大な鐘楼が並んでかつての様子を彷彿とさせる。昔の面影が消えてしまっ

「ちよとみ海道」
 白鳥庭園

熱田神宮の西、堀川をめぐり約三七八メートルの敷地に昭和五十八年池泉回遊式日本庭園が完成。ハイテクを駆使して池の干満を演出。数寄屋建築の清利亭は茶会などに開放されている。

名物のうなぎ、ものり、味噌煮込みうどん、さしめん、蒲焼、鰻の握りまがし

東海道中最大の繁昌を誇った宮宿。その名の通り熱田神宮の門前町に成立しに宿場がある。